

Mizuho Daily Market Report

2024/11/18

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.80	154.30	▲1.97	+1.66
EUR	1.0558	1.0540	+0.0010	▲0.0178
AUD	0.6466	0.6462	+0.0008	▲0.0121
SGD	1.3420	1.3420	▲0.0042	+0.0165
CNY	7.2287	7.2294	+0.0023	+0.0453
MYR	4.4725	4.4748	▲0.0107	+0.0923
THB	34.83	34.82	▲0.27	+0.81
IDR	15873	15855	+0	+185
PHP	58.75	58.74	▲0.04	+0.47
INR	84.40	84.41	+0.00	+0.03
VND	25388	25389	▲5	+103

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.439%	+0.4 bp	+13.5 bp
日本(10年)	1.073%	+0.9 bp	+6.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.356%	+1.5 bp	▲1.1 bp
オーストラリア(5年)	4.264%	▲4.8 bp	+7.7 bp
シンガポール(5年)	2.814%	▲1.7 bp	+8.4 bp
中国(5年)	1.715%	▲0.2 bp	▲3.0 bp
マレーシア(5年)	3.665%	+0.3 bp	+5.2 bp
タイ(5年)	2.187%	▲0.8 bp	▲2.7 bp
インドネシア(5年)	6.715%	▲1.9 bp	+13.2 bp
フィリピン(5年)	5.790%	▲4.1 bp	+8.1 bp
インド(5年)	6.807%	+0.0 bp	+5.7 bp
ベトナム(5年)	2.050%	+1.0 bp	+2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,444.99	▲0.7%	▲1.2%
N225(日本)	38,642.91	+0.3%	▲2.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,794.85	▲0.8%	▲0.2%
ASX(オーストラリア)	4,412.19	▲0.1%	▲0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,744.70	+0.2%	+0.5%
SSEC(中国)	3,330.73	▲1.5%	▲3.5%
SENSEX(インド)	77,580.31	+0.0%	▲2.4%
JKSE(インドネシア)	7,161.26	▲0.7%	▲1.7%
KLSE(マレーシア)	1,592.44	▲0.5%	▲1.8%
PSE(フィリピン)	6,676.65	+1.8%	▲4.3%
SETI(タイ)	1,442.63	▲0.5%	▲1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,218.57	▲1.1%	▲2.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	279.72	▲0.3%	▲0.7%
金	2,563.25	▲0.1%	▲4.5%
原油(WTI)	67.02	▲2.4%	▲4.8%
銅	8,881.89	+0.2%	▲4.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	153.80	—	156.00
EUR/USD	1.0520	—	1.0600
AUD/USD	0.6435	—	0.6530
USD/SGD	1.3390	—	1.3480
USD/CNY	7.2060	—	7.2490
USD/INR	4.4600	—	4.5030
USD/THB	34.50	—	35.15
USD/IDR	15630	—	15930
USD/PHP	58.22	—	58.88
USD/INR	83.45	—	84.55
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は156円台半ばでオープン。東京仲値直前までは前営業日までのドル買い地合いが継続、高値156円台後半をつける。東京仲値にかけては五・十日の実需のドル売りもあり下落。その後は加藤財務相からの円安牽制発言があるも、反応薄。156円半ばでの方向感が出ない動きが続き、156円台前半で海外時間へ。

アジア通貨は対ドルでまちまちの展開。シンガポールとタイは上昇となったが、インドネシアは前日比0.6%安と安値圏での推移となった。また、先週末発表のマレーシア第三四半期GDPは前年比+5.3%と前回対比鈍化が示されたもののマレーシアリンクに対する影響は軽微。

NY時間のドル円は155円台前半でオープン。朝方は米10月小売売上高(除自動車)が予想を下回ったものの、前回分が上方修正されたことや、ヘッドラインは予想を上回り、同時に発表の11月NY連銀製造業景気指数も予想を大幅に上回ったことから155円台後半まで水準を戻す。続いて発表の米10月鉱工業生産は予想程悪化しなかったものの、前回分が下方修正されドル円は一旦上値を抑えられるが、低下していた米金利の上昇がドルの支援材料となった。しかし10年債金利が4.5%まで戻すと、このレベルでは債券買い意欲があり、米金利が低下に転じる展開。ドル円も上値を抑えられ153円台後半まで反落する。終盤に掛けては、週末を控えた調整に徐々に値を戻し154円台前半でクローズした。

【金利】

先週末の米金利は僅かに上昇。先週末公表の小売売上高等の米経済指標が堅調となったことを受けFRBが来月の会合で利下げを見送るのではないかと懸念が広がった。米10年債利回りは前日比+0.4bpでクローズ。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開となることを予想。先週は底堅い米経済指標やパウエルFRB議長より利下げを急がないとの発言があったことを受け米利下げ先送りに対する見方が強まっている状況であり、ドルの堅調推移は続くのではないかと考える。但し、本日植田総裁発言が予定されており、足元の円安進行を受け今後の利上げパスについてどのような見解がでてくるかに注目が必要。

【本日の予定】

(日本) 10月 全国百貨店売上高
(日本) 10月 東京地区百貨店売上高
(日本) 9月 コア機械受注
(日本) 輪番 1-3y、5-10y、10-25y
(アジア) 10月 NZ ハフォーマンス・サービス指数
(アジア) 10月 NZ 非居住者 国債保有率
(アジア) 10月 シンガポール 非石油地場輸出 / 電子機器輸出
(アジア) 3Q NZ PPI
(アジア) 3Q タイ GDP
(欧州) 11月 英 ライトムーブ住宅価格
(欧州) 3Q スイス 鉱工業生産
(欧州) 9月 ユーロ圏 貿易収支
(欧州) 9月 西 貿易収支
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)
(米国) 11月 NAHB住宅市場指数
(米国) 11月 ニューヨーク連銀サービス業活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。